

中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行

特に妊婦及び妊娠の可能性のある方はご注意ください

【症状】

主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。これらの症状は軽く、通常、2～7日続きます。

【治療等】

対症療法となります。通常は比較的症状が軽く、特別な治療を必要としません。

【予防対策】

流行地域に渡航される際は、蚊に刺されないように注意してください。

【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外(米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、サモア、トンガ、カーボベルデ及びバハイ)でも発生しています。



※平成28年4月18日現在 中南米における流行地域

【妊婦及び妊娠の可能性のある方へ】

近年、ブラジルにおいて小頭症の新生児が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。このため、妊婦の方及び妊娠の可能性のある方は流行地域への渡航を控えた方が良くとされています。やむを得ず渡航をする場合は、特に蚊に刺されないように注意してください。

【流行地域に渡航される方へ】

【渡航中】

流行地域では、長袖、長ズボンの着用や、定期的な蚊の忌避剤(虫除けスプレー等)の使用などにより、蚊に刺されないように注意してください。

【帰国時】

蚊に刺されたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。

症状の有無にかかわらず、帰国後少なくとも2週間程度は、忌避剤の使用など蚊に刺されないための対策を行ってください。

また、性交渉による感染リスクも指摘されており、流行地域から帰国した男性は、症状の有無にかかわらず、最低4週間、パートナーが妊婦の場合は、妊娠期間中、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

FORTH